

オールラウンダーの競演!!

四日市競輪場開設69周年記念「泗水杯争奪戦」は、11月5日〜8日の日程で開催される。今シリーズは松浦悠士、平原康多、佐藤慎太郎、村上博幸のSS班4名が参戦する豪華メンバー。迎え撃つ地元勢は浅井康太をはじめ、柴崎淳、坂口晃輔、谷口遼平、皿屋豊とそろって、一丸となつて地元Vにまい進する。他にも原田研太郎、渡邊雄太ら自力型の健脚がいるだけにV争いは熾烈を極めそう。ファン必見の4日間だ。

松浦悠士、平原康多、浅井康太と輪界を代表するオールラウンダーがそろった。誰が優勝しても不思議ではないが、獲得賞金ランキングでトップを快走している松浦が優勝争いをリードするとみるのが順当だろう。昨年は競輪祭を制覇してタイトルホルダーの仲間入りを果た



松浦悠士

した松浦は、今年は更に進化を遂げている。オールスター、ウィナーズカップとビッグレースで2V、記念開催では3Vを飾っていて、しかも今年はまったく決勝を外していない。獲得賞金は1億4千万円を超えていて、第2位の脇本雄太に4千万円以上の差を付けている。今シリーズは中四国勢の上位陣が少ないが、今の充実ぶりなら不安材料にはなるまい。原田研太郎はどう出るか。普段は自力基本の競

走をしていて、オールスターの決勝では中四国ラインの先頭で積極的に駆けて松浦の優勝に貢献している。だが、メンバー次第では松浦に前を任せることもありそうで、連係しても前後は流動的だろう。

地元勢は充実のラインナップだ。大将格の浅井康太は62周年、63周年、64周年、67周年の計4V、昨年68周年の覇者である柴崎淳は57周年、58周年も制して計3V。この大会には素晴らしい実績を残している。今年の浅井はビッグレースでの決勝進出こそないものの、記念開催の3Vを含み5Vを達成している、コンスタントに好成績を残している。地元勢は戦力が整っている。浅井が5V目をゲットする場面は大いにありそう。オールスターでは①⑧①①着と3勝を挙げるとともに披露した柴崎だが、共同通信社杯で落車し、寛仁親王牌を欠場している。これも復帰叶うかは流動的。坂口晃輔は今期の競走得点は112点超。着実に地力アップしている印象がある。G3開催でのVはまだ無いだけに、そろそろ結果を出したいところ。先導役を務めるのは谷口遼平、皿



平原康多

屋豊だ。両者ともにランクはS2班ながら機動力はS1班中堅クラス。

今年の平原康多は年頭から安定した走りを披露していて、全日本選抜で準V、記念開催は3V、準V3回。獲得賞金ランキングは第4位(10月23日現在)で、8年連続のグランプリ参戦に向けて視界は良好だ。落車明けだった寛仁親王牌⑥④④④着の動きは好調と言えるものではないが、修正能力は高いだけに調子の上積みは十分に期待できる。持ち味の自在戦が奏功なら首位に躍り出る。

昨年のグランプリチャンプの佐藤慎太郎は、獲得賞金ランキング第7位(10月23日現在)で、グランプリ参戦に向けて正念場を迎えている。今シリーズの北日本勢は上位陣に自力型が手薄。メンバー次第では平原、渡邊雄太との連係もありそうだ。いずれにせよ、好位置占めれば連日から得意だろう。

村上博幸は古傷の影響で本来の伸びを欠き、共同通信社杯5欠着、寛仁親王牌⑧④⑧⑤着だが、10月京王閣記念では鋭脚發揮。復調ムードだ。



幼い頃、父に手を引かれ、初めて競輪を観に行きました。自転車があんなに速く走れるコト、父が少年のような顔になるコト、そして勝利を掴み取った選手笑顔。競輪って、いいな。

四日市競輪開設69周年記念

泗水杯争奪戦 GⅢ ナイター

2020 11/5(木)・6(金)・7(土)・8(日) 四日市 けいりん

http://www.yokkaichikeirin.com/



浅井康太

四日市記念 出場予定選手

※2020年10月24日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点						
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	114.80	S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	111.21	S2	山田幸司	神奈川	78期	102.92	S2	原田礼	福岡	90期	93.33	S2	花田将司	千葉	99期	94.55	
	村上博幸	京都	86期	111.75		坂本貴史	青森	94期	106.95		鈴木幸紀	三重	78期	102.00		中川貴徳	栃木	91期	98.91		藤井昭吾	滋賀	99期	99.00	
	平原康多	埼玉	87期	114.33		不破将登	岐阜	94期	105.00		宮本佳樹	香川	78期	94.26		伊藤太一	山梨	91期	95.39		笠松将太	埼玉	100期	96.04	
	松浦悠士	広島	98期	117.77		坂口晃輔	三重	95期	112.56		田中雅史	愛知	79期	94.00		柴崎俊光	三重	91期	104.11		大洞翔平	岐阜	100期	93.36	
S1	神山雄一郎	栃木	61期	104.28		東龍之介	神奈川	96期	108.71		内藤敦	岡山	80期	101.11		伊原克彦	福井	91期	103.46		泉谷元樹	愛知	101期	95.07	
	志智俊夫	岐阜	70期	107.79		原田研太郎	徳島	98期	111.03		坂本晃輝	佐賀	81期	96.32		大川龍二	広島	91期	102.61		大西貴晃	大分	101期	96.64	
	佐藤真一	東京	79期	0.00		横山尚則	茨城	100期	102.56		宮越孝治	富山	82期	100.38		大西祐	愛媛	91期	97.55		谷口遼平	三重	103期	106.37	
	三宅達也	岡山	79期	107.26		高久保雄介	京都	100期	106.48		土井勲	岡山	82期	95.39		山口貴弘	佐賀	92期	96.27		菅原大也	神奈川	107期	98.83	
	野田源一	福岡	81期	106.07		渡邊雄太	静岡	105期	110.57		平沼由充	福島	83期	101.00		佐藤清之	千葉	93期	94.92		小林史也	和歌山	107期	92.87	
	松坂英司	神奈川	82期	103.73		山岸佳太	茨城	107期	105.65		肥後尚己	大阪	83期	93.63		三谷政史	奈良	93期	102.21		佐々木龍	神奈川	109期	98.18	
	稲垣裕之	京都	86期	110.24		築田一輝	静岡	107期	107.53		工藤政志	青森	84期	101.62		福島栄一	香川	93期	99.19		池野健太	兵庫	109期	93.47	
	湊聖二	徳島	86期	106.33		竹内翼	広島	109期	102.77		菅原晃	大分	85期	104.77		成松春樹	佐賀	93期	96.48		木村幸希	広島	109期	101.73	
	坂本健太郎	福岡	86期	106.95		南潤	和歌山	111期	105.11		吉田勇人	埼玉	86期	97.25		武藤篤弘	埼玉	95期	98.82		野村典嗣	愛媛	109期	95.00	
	福田知也	神奈川	88期	107.15		嵯峨昇喜郎	青森	113期	105.90		上田裕和	三重	86期	94.15		佐藤博紀	岩手	96期	102.94		林大悟	福岡	109期	100.78	
	五日市誠	青森	89期	98.82	S2	清水広幸	愛知	57期	95.07		石橋慎太郎	静岡	88期	95.20		杉本正隆	茨城	96期	102.36		皿屋豊	三重	111期	106.60	
	渡部幸訓	福島	89期	105.48		石田洋秀	広島	64期	94.63		荻原尚人	宮城	89期	98.91		雨谷一樹	栃木	96期	105.63		鶴良生	福岡	111期	99.70	
	田中誠	福岡	89期	108.88		望月裕一郎	静岡	65期	98.96		佐藤朋也	秋田	89期	94.88		磯田旭	栃木	96期	96.27		眞杉匠	栃木	113期	107.41	
	田中晴基	千葉	90期	106.64		伊藤健詞	石川	68期	98.10		上田国広	三重	89期	100.78		城川宗行	東京	96期	93.37		内山雅貴	静岡	113期	99.53	
	浅井康太	三重	90期	114.50		紺野哲也	宮城	69期	101.58		筒井裕哉	兵庫	89期	102.41		古幸弘	山梨	96期	96.04		山田諒	岐阜	113期	103.35	
	小岩大介	大分	90期	106.70		佐藤和典	神奈川	70期	93.83		近藤隆司	千葉	90期	105.54		久米良	徳島	96期	104.52		小原文一郎	青森	115期	103.35	
	宿口陽一	埼玉	91期	107.00		佐藤成人	奈良	71期	95.04		竹澤浩司	富山	90期	99.68		山形一気	徳島	96期	103.80						
	柴崎淳	三重	91期	109.75		丹波靖貴	岡山	74期	94.95		伊藤成紀	大阪	90期	99.15		近藤寛央	東京	97期	97.31						